

研究課題名	末梢肺病変に対する 2 スコープテクニックを用いた経気管支クライオ生検の安全性・有用性を検討する後向き観察研究
研究の意義・目的	おもに肺癌が疑われる病変に対して、気管支鏡を 2 つ用いてクライオ生検（凍結生検：病変部を瞬間的に-89 度まで凍結させ、採取します）とその止血をおこない、安全性と有用性を検討します。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2024 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2019 年 10 月～2021 年 3 月に大阪市立大学医学部附属病院呼吸器内科で、原発性肺癌が疑われる末梢肺病変の診断のため 2 スコープテクニックを用いて経気管支クライオ肺生検が行われた年齢 20 歳以上の方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 試料：【腫瘍組織（病理プレパラート）】 診療情報等：【患者基本情報（年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、既往歴、併存症、内服薬、病期、画像所見）、血液検査結果（血小板数、プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、プロトロンビン時間-国際標準化比、プロトロンビン時間活性度）、病理検体情報（組織診断結果、検体サイズ、挫滅の程度）、内視鏡処置情報（内視鏡術中所見）】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院呼吸器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 研究責任者 中井 俊之
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 （担当者氏名）中井 俊之 電話番号：（06）6645-2306